

# 環境にやさしい まちづくりのススメ

## 樹木粉碎車が巡回します

生垣の剪定などで家庭から季節的に一時多量に発生する剪定くずは、樹木粉碎車が拠点を巡回し、粉碎処理してごみの減量化を図ります。

樹木粉碎車は、枝や木くずをチップ状にします。チップは草が生えにくいように、花壇などにまくなどして再利用できます。チップは無料で差し上げます。

### ○利用料

無料（ごみ指定袋に入れる必要はありません）

### ○処理できる木

家庭系の樹木、枝、（竹は5本まで）

### ○処理できない木

はげの木、漆の木、木の根、建築廃材、釘や針金がついた木

### ○出す時の注意点

長さ2m、直径12cmを超えないこと。落葉を袋に詰めたものは、土や小石が混入しているため受け付けません。広がった枝は、枝落としをしてください。

巡回日の受付時間前には、実施場所に持ち込むことはできません。

### ○申込方法

実施日の2日前までに、環境生活課に予約をしてください。

### ○樹木粉碎車の巡回日程

※搬入時には、交通に充分ご注意ください。

日程	受付時間	実施場所
5月29日(土)	9:00~11:00	新山白鈴公園
	13:30~16:00	菊陽町役場車庫北側駐車場
5月30日(日)	9:00~11:00	武蔵ヶ丘コミュニティセンター駐車場
	13:30~16:00	菊陽町役場車庫北側駐車場



樹木粉碎処理状況

問い合わせ

環境生活課

☎ 232-2114

## リサイクル推進事業奨励金の品目に「牛乳パック」を追加しました

平成22年度新たな対象品目として、古紙の分類に「牛乳パック」を追加しました。

ごみステーションには、まだ多くのリサイクルできる資源物が出されていますので、地域のリサイクル活動に積極的なご協力をよろしくお願いします。

リサイクル奨励金対象品目		奨励金の額
古紙類	新聞紙・チラシ、雑誌、その他の紙、段ボール	1kgにつき 10円
	牛乳パック等	回数加算 4回目以降 1kgにつき 2円
布類	古着等	1kgにつき 10円
缶類	アルミ缶、スチール缶	1kgにつき 10円
ビン類	ビールビン	1本につき 8円
	酒ビン	1本につき 10円

## 太陽光発電システム・太陽熱温水器などの設置費用の一部を補助します

地球温暖化の防止は、人類共通の解決すべき問題です。町では、低炭素社会の実現に向け、町民の皆さんに新エネルギーの導入を推進してもらうため、その設置費用の一部を補助しています。

### 補助の概要

#### ■補助金の交付対象者

- ・町内の専用住宅などに対象機器を設置する人
- ・対象機器を設置した専用住宅などを購入する人

※その他一定の要件があります。

#### ■補助金対象機器および補助金の額

○太陽光発電システム  
1万5千円/1kW(限度額=6万円)

○太陽熱温水器、太陽熱利用システム  
設置費用の5分の1(限度額=5万円)

交付を受けるためには、設置または購入前の事前の手続きが必要です。

補助金の交付は、予算の範囲内で行います。

町ホームページに詳細を掲載しています。

## 生ごみの減量化対策「段ボール式コンポスト」モニター募集

生ごみの多くは、燃やすごみとして処理されています。

生ごみをたい肥化し、活用する方法として、近年話題になっているのが「段ボール式コンポスト」です。

「段ボール式コンポスト」とは、厚めの段ボール箱の中に微生物を活性化させる基材を入れて、生ごみを分解する方法です。土のない場所でも取り組むことができ、子どもでも手軽に楽しくできる場所が特徴です。できたい肥は、家庭菜園などの園芸にも利用できます。

町では、この「段ボール式コンポスト」を使って、生ごみの減量化に取り組んでいただくモニターを募集します。モニターの期間は、使用を開始した日からのたい肥ができるまでの約4カ月間です。

皆様のご参加をよろしくお願いします。

### ■モニター事業の概要

#### ○募集条件

- ・町内に在住の人(世帯から1人)。
- ・2回の講習を受けることができ、アンケートや生ごみの減量化に協力できる人。

#### ○受講料

- ・無料(材料の段ボールコンポストセットは、無料です)

#### ○募集人数

- ・講習会会場各40人。会場ごとの申込順とします。

#### ○申込方法

- ・電話申込(環境生活課 232-2114)または、各会場に設置の申込書に記入(住所、氏名などをお聞きします)。

#### ○募集期間

- ・5月6日(木)から5月20日(木)まで
- ・モニター対象者には、後日受講案内を送付しますので、受講の際にお持ちください。

### 「段ボール式コンポスト」の使い方

①段ボール箱に基材を入れる。  
(基材:ピートモス、もみがらくん炭)

②風通しの良い置き場所を選ぶ。

③1日の生ごみ投入量約500g~800g。



④基材の微生物が生ごみを分解。

⑤約3カ月間投入可能で、約50kgの生ごみが減量できる。

⑥投入をやめて約1カ月間ねかせる。

⑦完熟たい肥の完成!

### 会場と日程および講習会の内容は、次のとおりです

会場	日 程	時 間	
		1回目	2回目
三里木町民センター (☎ 232-5536)	6月5日(土)	7月24日(土)	10:30~11:30
西部町民センター (☎ 338-3443)	6月5日(土)	7月24日(土)	13:30~14:30
中央公民館 (☎ 232-2116)	6月6日(日)	7月25日(日)	10:30~11:30
南部町民センター (☎ 292-3200)	6月11日(金)	7月16日(金)	10:30~11:30
ふれあいの森研修センター (☎ 233-1080)	6月11日(金)	7月16日(金)	13:30~14:30
東部町民センター (☎ 232-3803)	6月12日(土)	7月17日(土)	10:30~11:30
武蔵ヶ丘コミュニティセンター (☎ 232-5697)	6月12日(土)	7月17日(土)	13:30~14:30

講習会の内容(必ず2回の講習を受けてください)

1回目の内容	段ボール式コンポストの作り方と使い方
2回目の内容	フォローアップ(課題と対策)と堆肥づくりについて